

平成 24 年 2 月 24 日

## 認可保育園・学校給食の放射性物質検査

### 2 月実施分(第 5 回)の結果について

豊島区は、区内認可保育園・区立小中学校の給食への信頼と保護者の安心を得るために、全校（小学校 23 校、中学校 8 校）、全園（33 園）を対象に、給食の放射性物質測定 of 独自調査を昨年 10 月から順次実施している。

先月 1 月までの検査結果は（小学校 14 校、中学校 5 校、保育園 17 園）は、いずれも「検出せず」（定量下限値の 20 Bq/kg 未満）であり、かつ、検出下限（測定機器で検出できる最小値）の参考値を超える数値も検出されなかった。

2 月実施分の小学校 5 校、中学校 2 校、保育園 8 園を対象に行った検査でも、結果はいずれも「検出せず」であったが、保育園 2 園の牛乳から、検出下限（測定機器で検出できる最小値）を超える微量のセシウム 137 が検出された。（※下表参照）

これらの数値は、牛乳・乳製品の放射性セシウムの暫定規制値（200Bq/kg）を大幅に下回っており、また、厚生労働省が、昨年 12 月にまとめた食品中の放射性物質の新たな基準値案（平成 24 年 4 月施行予定）における「牛乳」及び「乳児用食品」の基準値案（50Bq/kg）をも大きく下回る値となっている。

参考値として情報提供を受けた数値は極めて微量であるが念のため、同一メーカーの牛乳を納入している他の保育園を含めた 17 園について、当面の間、集中検査を実施する。

なお、学校給食用は市場ルートとは別ルートで一括納入しており、また、他のメーカーの牛乳を納入している保育園については、今回の集中検査の対象外とする。

（※）検査機関より、参考値として牛乳から放射性物質（セシウム 137）が検出されたとの情報提供を受けた内容の詳細は下表のとおり。

（2 月 9 日検査実施）

対象施設等		セシウム 134	セシウム 137
池袋第五保育園	牛乳	2.6Bq/kg 未満	2.4Bq/kg (検出下限 1.6Bq/kg)
南大塚保育園	牛乳	2.1Bq/kg 未満	2.5Bq/kg (検出下限 1.8Bq/kg)

（単位表示 : Bq/kg = ベクレル/キログラム）

問い合わせ：保育園課長（保育園での給食検査に関すること）  
学校運営課長（小・中学校での給食検査に関すること）  
危機管理担当課長（放射性物質対策に関すること）